



## 区画線診断モジュール編

2018. 4. 18

## 目次

### 区画線診断モジュール編

1.	起動	1
2.	起動時のメイン画面	1
3.	診断実行	2
4.	診断結果表示	2
5.	診断結果修正	3
6.	診断画像の削除	4
7.	判定基準の設定	4
8.	診断結果	5

## 区画線診断モジュール編

区画線診断モジュールは、本システムで構成される撮影モジュールで撮影された画像データの区画線を自動的に判別し区画線の剥離割合を算出します。

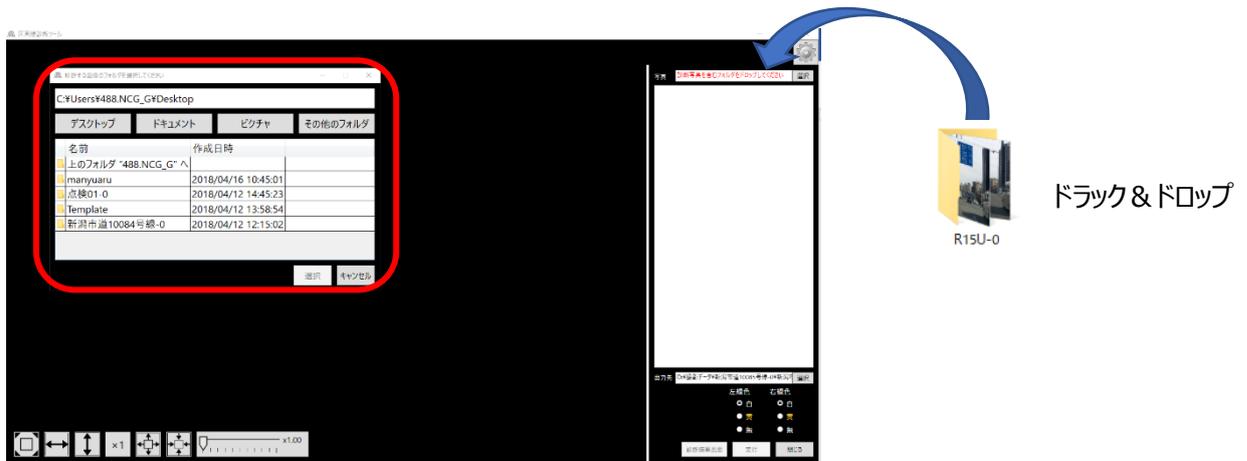
### 1. 起動

インストール時に作成したアイコンをクリックしシステムを起動します。

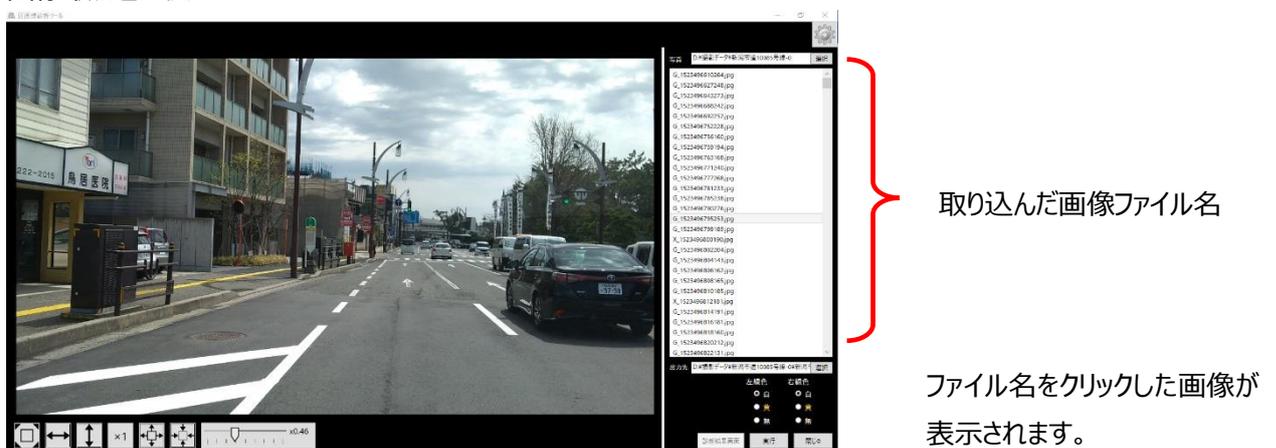


### 2. 起動時のメイン画面

システム起動後、撮影モジュールで撮影した画像データを予めスマートフォンより PC へ転送した後、画像フォルダーを指定してシステム内で画像データを取り込みます。

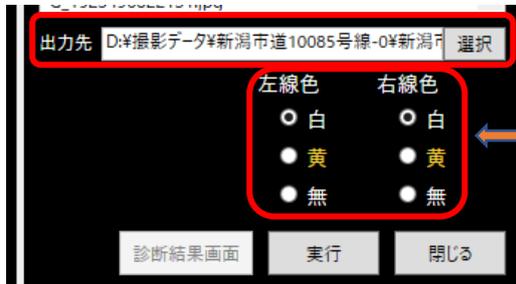


### 画像取り込み後

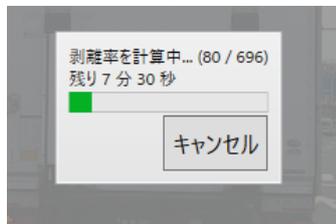


### 3. 診断実行

画像データの取り込みが完了したら、診断結果の**出力先**を指定し **左右の線の色**を選択し **実行** ボタンを押してください。



※（片側しか診断しないときは、診断しないほうは【無】を選択してください）



【参考】あくまでも目安です。

PCの性能によりませんが、700枚（概ね20キロ程度の撮影）の画像を診断するのに7分～10分程度の時間を要します。

※パソコンの搭載メモリ容量により処理枚数の上限があります。診断が途中で停止する場合はフォルダを複数にわけて診断し、あとで診断結果をまとめて下さい。

### 4. 診断結果表示

診断が終了すると、下記の画面が表示されます。

画像ファイル名	剥離率	診断結果	緯度	経度
G_152349000143.jpg	20.0%	△	37.913362811111	139.039974444444
G_152349000143.jpg	11.3%	○	37.913209494444	139.04011722
G_152349000143.jpg	18.6%	△	37.913209494444	139.04011722
G_152349001010.jpg	—	—	37.913494444444	139.040202222222
G_152349001010.jpg	—	—	37.913494444444	139.040202222222
G_1523490412141.jpg	10.5%	△	37.910444444444	139.040277777778
G_1523490412141.jpg	12.4%	△	37.910444444444	139.040277777778

画面の上部に診断した画像ファイル名・剥離率・診断結果（○、△、×）・緯度経度情報がリスト表示されます。

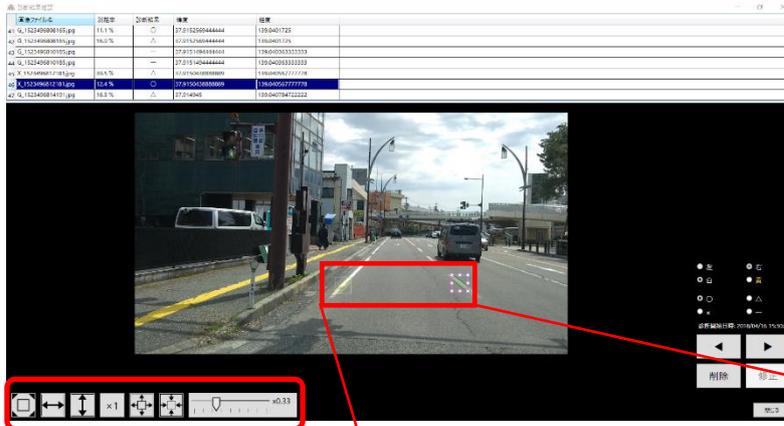
#### リストのソート

画像ファイル名	剥離率	診断結果	緯度	経度
88 G_1523497349159.jpg		—	37.9019002777778	139.075620833333
89 G_1523497357186.jpg		—	37.9023627777778	139.076884444444
90 G_1523497839156.jpg		—	37.9359438888889	139.153681666667
91 G_1523497385174.jpg		—	37.9049388888889	139.080770555556
92 G_1523497393180.jpg		—	37.9057341666667	139.081800555556
93 G_1523497337159.jpg		—	37.9013597222222	139.073724166667
94 G_1523498181147.jpg		—	37.9534638888889	139.214008888889

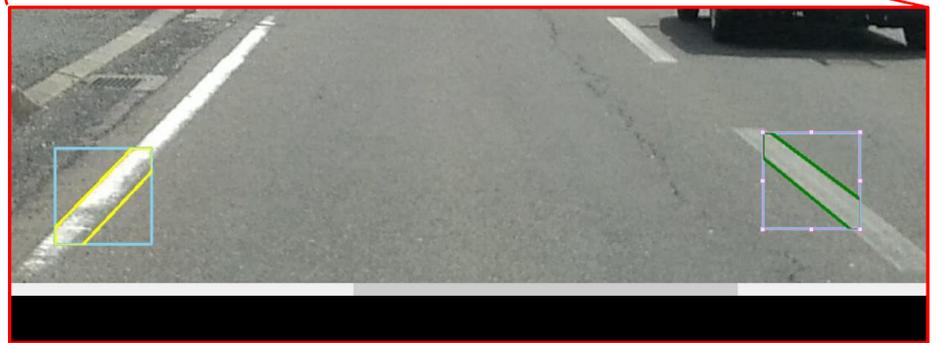
マウスでクリックするとそれぞれの列でソートする事ができます。

## 5. 診断結果修正

診断結果が正常に判断されているか、リストに表示されている情報を参照しながら、写真の診断箇所を確認します。

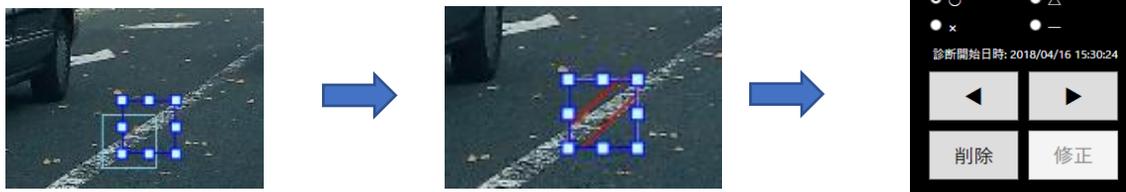


画面に表示されている画像を拡大・縮小させながら確認する事も可能です。



以下の方法で診断結果を修正できます。

- 再診断したいときは、マウスで診断したい位置に矩形を移動します。



診断結果を強制的に変えたいときは、右側のラジオボタン(○/△/×/—)で変更します。

【修正】をクリックすると修正を適用します。(まとめて位置調整をして、一気に修正することも可能です) すべての写真をチェックすれば完了です。

(データは自動的に保存されているので、右下の【閉じる】で終了してください。)

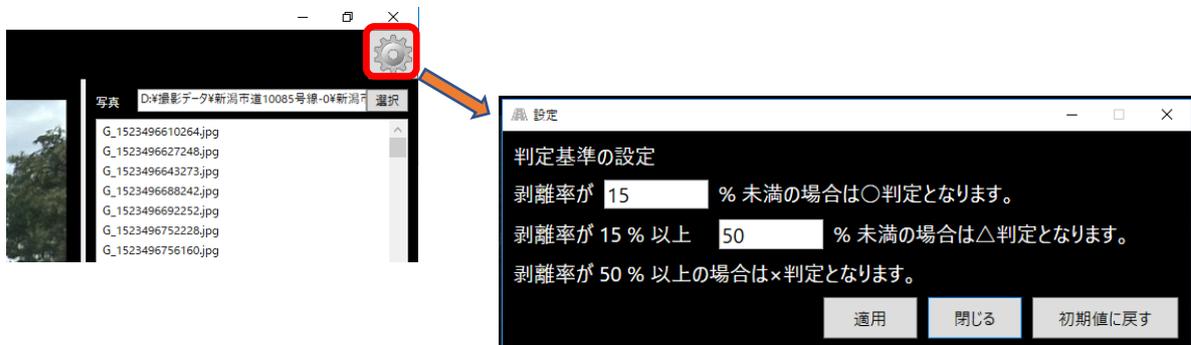
## 6. 診断画像の削除

撮影に失敗したなどの理由で、診断結果に含めたくない画像は【削除】ボタンで削除します。一旦削除した画像を復元するときは、【復元】ボタンをクリックしてください。



## 7. 判定基準の設定

判定基準の設定をユーザー側パーセンテージを変更することができます。



### 【参考】

システム上の初期設定は、ハンドブックでは 5 段階で、それをベースにした全標協「路面標と交通安全」Vol.8 測定結果表を参考に地図上で識別しやすいように 3 分類に便宜的にしています。

評価ランク 4, 5 を ○ (青色)

評価ランク 3 △ (黄色)

評価ランク 2, 1 × (赤色)

剥離率の%はその範囲内で設定しています

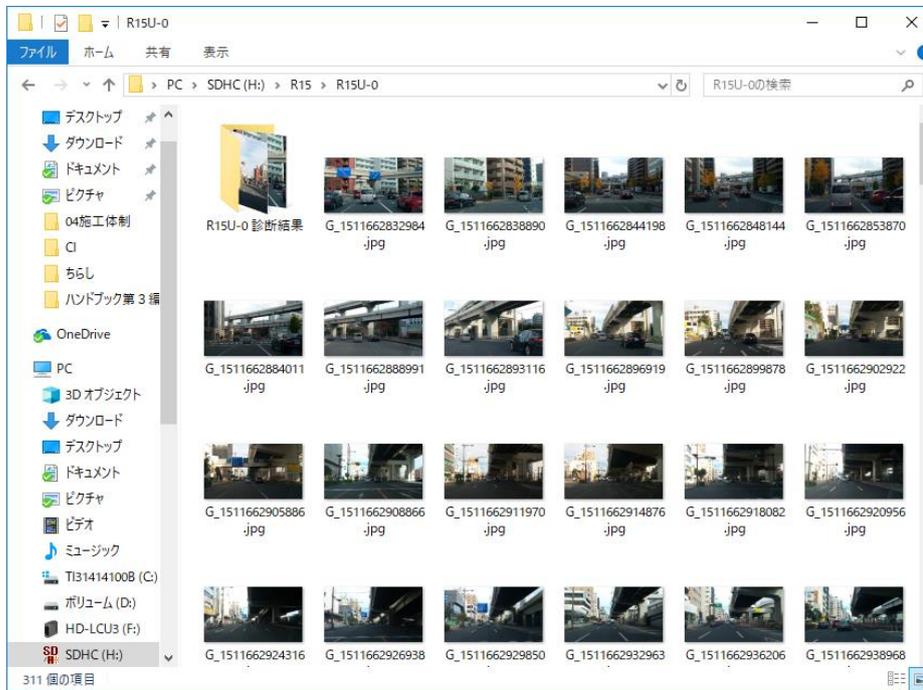
目視評価ランクと評価内容

目視評価ランク	目視評価
5	標示全体が維持されており、摩耗が少なく、剥離が見られない。 経時による塗膜の劣化が見られない。
4	摩耗の進行と若干の剥離が見られるが、標示全体の形状は維持されている。 割れ、クラック等の経時による劣化がわずかに見られる程度である。
3	摩耗または剥離により、標示の中に舗装路面の露出がみられる。標示全体の形状は維持されている。 摩耗、剥離が少ない塗膜での経時による表面の劣化、割れ、クラックが見られる。
2	摩耗または剥離が進行し、標示の形状に不鮮明な部分が見られるようになる。 摩耗等の少ない塗膜では、経時による表面の劣化、割れ、クラックが顕著である。
1	摩耗、剥離が進行し、標示の形状、機能がほとんどない。 経時による表面の劣化、割れ、クラックが著しい。

## 8. 診断結果

最初に指定したフォルダの中に【診断結果】のフォルダが作成されます。

そのフォルダをビューワに読み込んで完了です。



ビューアーモジュールへ

